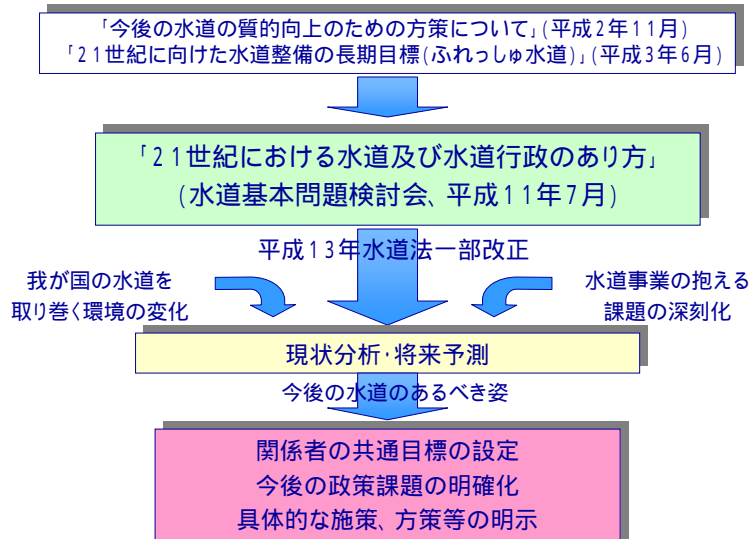
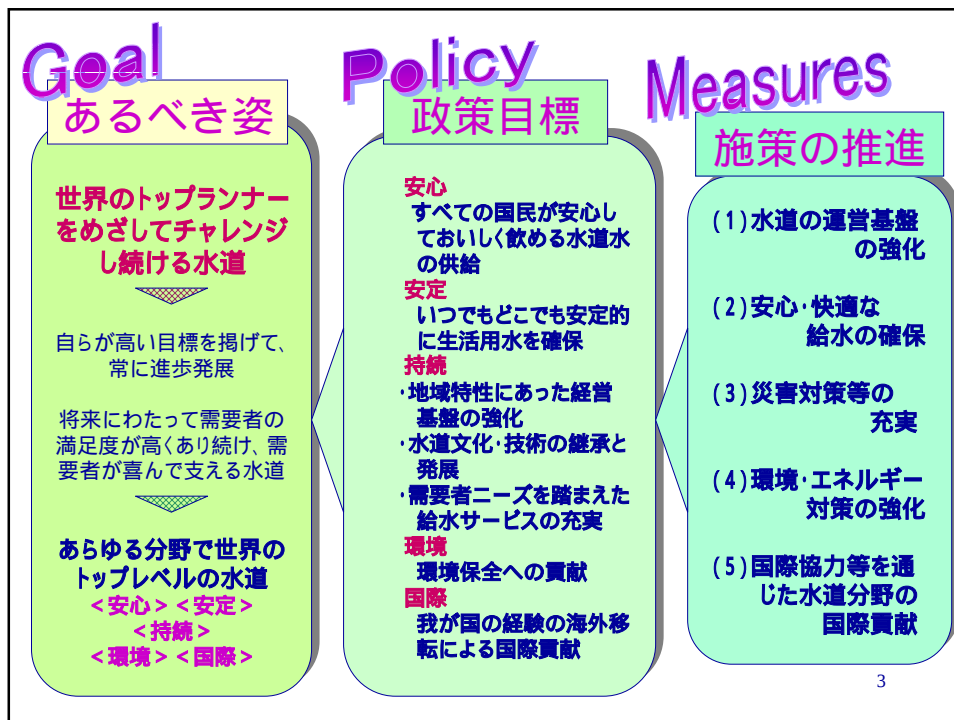


水道ビジョン (第1案) 概要

1. 水道ビジョンの目的





2. 水道の状況と将来の見通し

- (1) 安全な水、快適な水が供給されているか
- ・水道水源の水質の悪化と水源から給水栓までの水質管理
 - ・給水装置・用具や貯水槽水道における水質
 - ・未普及地域の存在と未規制水道における衛生管理の不徹底
 - ・汚染リスクに係るリスクコミュニケーション
- (2) いつでも使えるように供給されているか
- ・水道の広域化・統合
 - ・災害対策等緊急事態への対応の充実の必要性
 - ・水資源をめぐる課題
- (3) 将来も変わらず安定した供給ができるようになっているか
- ・更新期を迎えた37兆円の水道ストック
 - ・経営形態の多様化、資金問題
 - ・需要者のニーズへの的確な対応、需要者の視点に立った事業運営
 - ・水道技術継承の危機
 - ・技術革新、技術開発
- (4) 水道は環境保全などの社会的責任を果たしているか
- ・高まる環境問題への対応の重要性
 - ・水道事業による率直的な取組み
- (5) 世界の中で我が国の水道はどのような位置にあるか
- ・途上国における深刻な水不足
 - ・水道分野における国際調和の推進

3. 目指すべき方向性

- 水道関係者の共通目標 -

**世界のトップランナーをめざして
チャレンジし続ける水道**

自らが高い目標を掲げて、常に進歩発展
将来にわたって需要者の満足度が高くあり続け、
需要者が喜んで支える水道

あらゆる分野で世界のトップレベルの水道

<安心> <安定>

<持続>

<環境> <国際>

5

4. 長期的な政策目標

安心: すべての国民が安心しておいしく飲める水道水の供給

安定: いつでもどこでも安定的に生活用水を確保

持続: 地域特性にあった経営基盤の強化
水道文化・技術の継承と発展
需要者ニーズを踏まえた給水サービスの充実

環境: 環境保全への貢献

国際: 我が国の経験の海外移転による国際貢献

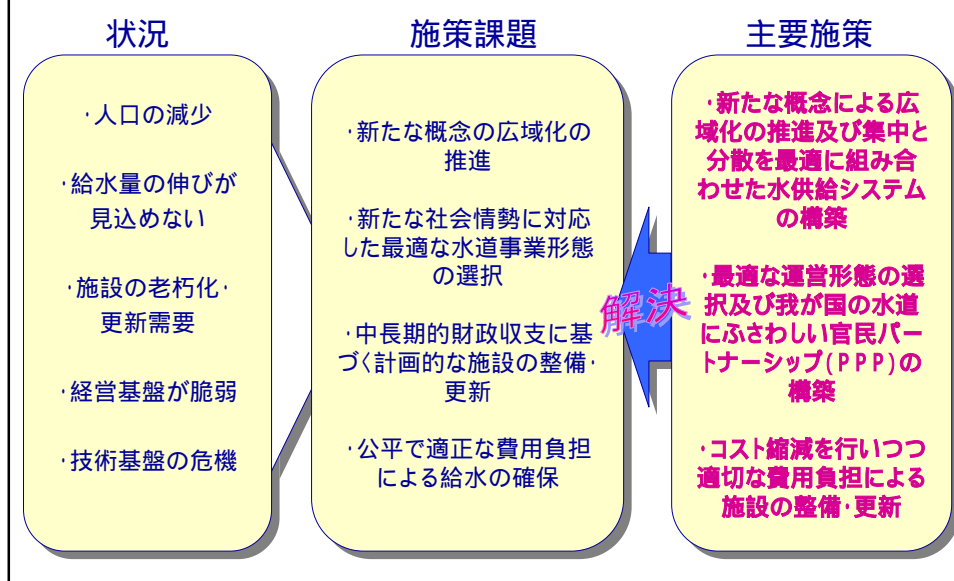
6

5. 政策目標達成のための総合的な 水道施策の推進

- 1) 水道の運営基盤の強化
- 2) 安心・快適な給水の確保
- 3) 災害対策等の充実
- 4) 環境・エネルギー対策の強化
- 5) 国際協力等を通じた水道分野の国際貢献

7

1) 水道の運営基盤の強化



2) 安心・快適な給水の確保

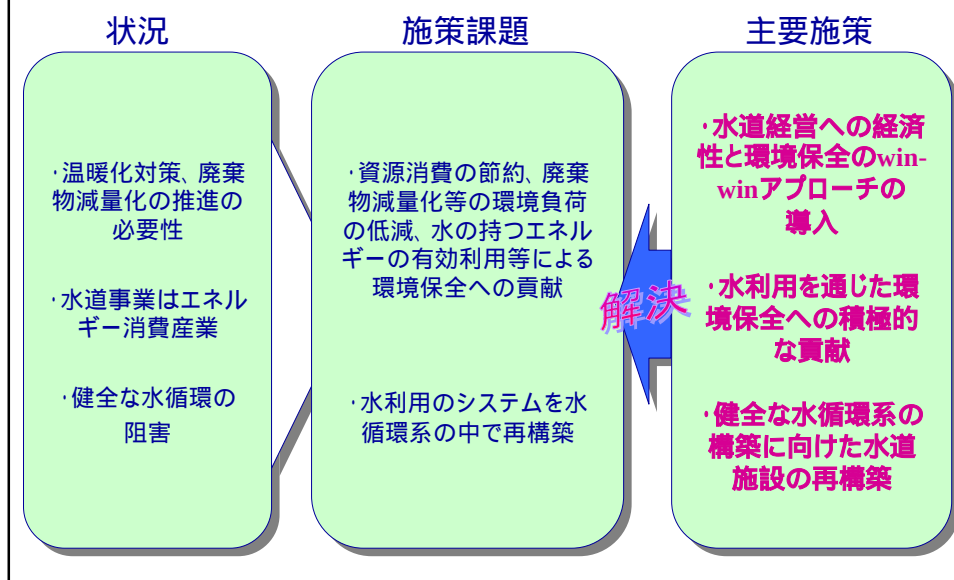
- 水質管理対策の強化 -



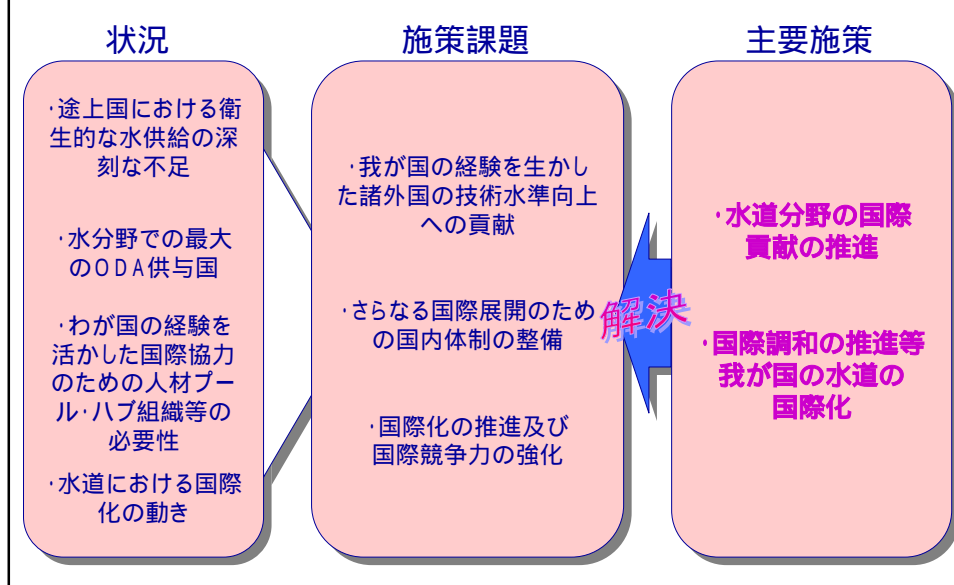
3) 災害対策等の充実



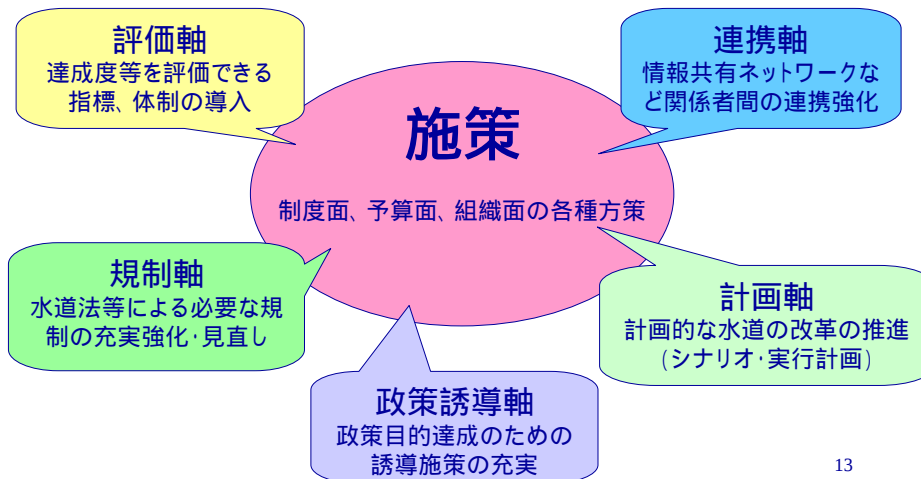
4) 環境・エネルギー対策の強化



5) 国際協力等を通じた水道分野の国際貢献



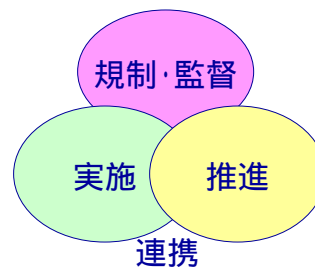
6. 各種方策の連携による 目標の早期達成



13

7. 関係者の参加による目標の 達成

- ・ 国
 - ・ 都道府県
 - ・ 水道事業者
 - ・ 水道関係団体
 - ・ 水道関連業界
 - ・ 研究機関・大学
 - ・ NPO
 - ・ ビル等の管理者
 - ・ そして水道需要者
- それぞれの基本的役割



14

8 . スケジュール

9 . フォローアップ

10 . まとめ

15